

Fresh! Water

Aqua Totto News No.9



1P》探偵アクア・トトスクープに密着!!

2P》はたしてメコンオオナマズは音を出すのか!? ~メコン川中流の魚Ⅱ水槽 録音実験~

3P》アクア・トト ぎふスタッフ飼育日記

木曽川ワンド便り Vol.3

4P》環境学習プログラム

5P》企画展レポート 6P》INFORMATION



企画展

「探偵!アクア・トトスクープ。」に

密着!

「カピバラは声を出して鳴くの?」

「マリンちゃんが舌を覚えるのはどれくらい?」

「大きな魚はどうやって運ぶの?」

田んぼの生き物は、冬どこにいっちゃうの?



依頼者、将史君は、渡り鳥のように外国に行っていると予想していました。まずは、手がかりを捜しに、探偵とともに田んぼを探索。

途中で、ド口にはまり身動きが取れなくなるハブニクにも見舞われましたが、見事、田んぼの土の中から

冬眠中のヌマガエルや、アメリカサリガ二を発見!!

将史君、麻衣ちゃん、二人とも寒い中、本当にがんばりました。

カピバラはいつもとほけた顔をしています、必死なときや真剣なときはあるの?

カピバラが、どんなときに真剣な表情をするのかを知りたい翼君は、作戦を立てました。1.カピバラに難しい問題を出题する「おずおず作戦」、2.怖いものを見せる「こわこわ作戦」、3.好きなものをあたえる

「すすすす作戦」、4.エサをあたえる

「食べもの作戦」の4つの作戦を

実行しました。



テッポウウオのとばした水は、時速何キロくらい?

テッポウウオがエサをうち落とす早業に心奪われた亮太君は、その速さがどのくらいなのか知りたくなりました。エサをうち落とす様子をビデオで撮影し解析すると、テッポウウオのとばした水の時速が判明しました。



デンキウナギにさわるとどうなるの?

探偵さん、さわってみて!

だれもが興味を覚えるこの疑問を依頼してくれたのは紫乃さんでした。まずは探偵が挑戦、続いてみんなで手をつないで挑戦。発電器官には2種類あり、エサの生き物を気絶させる強力なものと、レーダーのように周囲を探知するものがあることを、身をもって体感することに成功しました。



村山

カエルに歯はありますか?



こんな鋭い疑問をもったのは知夏ちゃん。人間みたいな四角い歯?鋭い牙?細かい歯?家族みんなで予想しました。カエルを観察してもいっこうに口の中を見せてくれません。エサを食べるところを観察しても、速すぎてわかりません。そこで、標本を用いて調べてみました。

同じカエルの仲間でもいろいろ歯を見つけました。

同じカエルの仲間でもいろいろ歯を見つけました。

コイの口の中を見たい!!

「コイがエサを食べるときは、掃除機みたいに吸い込んで食べるの。だから口の中どうなってるのかなって思ってた…」と言っていた太星くん。エサを食べるところを間近で観察しても分かりません。



そこで標本や図鑑で調べてみると、のどの奥の方に歯のようなものを見つけました。この咽頭歯でエサをすりつぶして食べるんだって。なんと10円玉も曲げてしまうほどの力があるそうです。

はたしてメコンオオナマズは音を出すのか!?



音を出ることができる魚がいるのを知っていますか？
魚の中には音を出ることができるものがあります。

体のどの部分を使って音を出すかによって大きく3つに分けられます。
骨部を摩擦させて音を出すタイプ…ナマズの仲間やカワスズメの仲間など
筋肉を振動させて音を出すタイプ…カサゴやホウボウ、シマイサキなど
その他のタイプ…モンガラカワハギの仲間、グラミの仲間など

これらの魚の発音行動は、その種によってさまざまですが、例えば外敵に対する威嚇のためであったり、メスに対する求愛のためであったりすると考えられています。

ナマズの仲間の発音については、古くから研究されてきましたが、メコンオオナマズのように解明されていない種も多くいます。

…さて、ある日の飼育スタッフの会話の一部です。

Iさん 「メコンオオナマズの展示水槽に潜水し、掃除をしていると、なにやら「カチッカチッ」という音が聞こえたんだ。はじめは水槽の外で、他の誰かが壁を叩いて、私を呼んでいるのかと思ったんだけど、そこには誰もいなかったのさ。」

Hさん 「ああ、僕も、潜っていたら、そのような音を聞いたよ。なんだろうと思って、振り返ったら、そこにはメコンオオナマズがいたんだ。びっくりしたよ。もしかしてメコンオオナマズの出す音なのかな?」



録音実験の様子

水中にマイクを設置

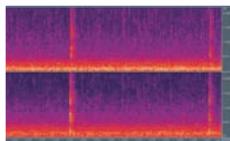
そこで、水中マイクを使って、録音し、その音はいったい何なのかを調べるようになりました。録音実験を行うにあたり、京都大学大学院情報学研究科の荒井先生、三田村先生、市川先生、株式会社システムインテック研究センターの新家先生の4名をお迎えしました。

先生方と飼育スタッフとの入念な打ち合わせの後、メコンオオナマズの展示水槽の中に3つの水中マイクを設置し、いよいよ実験開始です。9月24日から10月1日までの171時間にわたり録音を行ない、そのデータを京都大学で調べてもらいました。

その結果、「カチッ」という音と「キュウイッ」という音の2種類が確認されました。「カチッ」という音はまさしく飼育スタッフの2人が聞いた音で、この音は2時間ないし12時間周期で頻繁に確認されることが分かりました。また、「キュウイッ」というイルカが出すような音はまだ誰も聞いたことがない音でした。先生方のお話によると、音の波形から見てどちらの音も生物が出していることには間違いのないことでした。では、この音は、メコンオオナマズが出しているのでしょうか？

実は、メコンオオナマズを展示している水槽には、同じナマズの仲間や、コイの仲間、タウナギの仲間など8種類も展示しています。つまり、水槽内で聞こえた音は生物によるものだという確証は得ることができましたが、どの魚によるものなのかが特定できていないのです。今後は、発音している魚種を特定するために、それぞれの種を単独で飼育し、細かく調べていく必要があります。

確認された音の波形



お客様からの生き物に対する質問はたえることはありません。

そこで、今回は

“飼育スタッフに答えを聞く”のではなく、“どうやったら疑問を解決できるのか

自分で考えて解明してみよう!”

というのが、

この企画展「探偵!アクア・トトスコープ」です。

大きな魚はどうやって運ぶの?

アクア・トトぎふには、とても網ですくえないような大きな魚がいます。どうやって水槽へと入れられるんでしょうか?その謎にせまったのは大樹君。ちょうど探偵と話しているときに、運よく魚の移動をする人たちに会い手伝わせてもらえることに!その後で、メコンオオナマズを運んだときの様子を撮影したビデオも見せてもらい、大樹君も納得。



大きな魚はみんなで力を合わせて慎重に運ぶということが分かりました。

オキシドラスの鼻の穴は4つありますか?

「この魚なんかヘン。鼻の穴が4つもあるんですけど…」

花菜ちゃんの言うとおり、オキシドラスには4つの鼻の穴があります。

標本を使って調べてみると、なんと!

前と後3の鼻の穴には糸が通せました。つまり、つながっていたんです。

ほとんどの魚の鼻の穴は2対で4つあり、その穴を前から後ろに水が通り抜けることによって二オイを感じることができるのです。



デメモロコの繁殖 波多野

デメモロコはコイの仲間で、濃尾平野と琵琶湖に分布する日本の淡水魚です。平野部の池や沼、用水路など流れの緩やかな水域に生息し、成長すると10cmほどになります。近年、その生息数が減ってきており、環境省の2007年度版の「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(レッドリスト)」に「絶滅の危険が増大している種(絶滅危惧II類)」として記載されました。岐阜県が発行している「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(岐阜県レッドデータブック)」にも記載されており、その種の保存はもちろんのこと、生息域の保全を含めた対応が求められてきています。そこで当館でも、デメモロコの累代繁殖を目標とし人工繁殖を試みました。通常、繁殖に適

デメモロコ成魚



デメモロコ稚魚

切な環境で育った魚では、産卵の際、水温、日長、潮汐の変化や産卵床(巣)などの外部環境要因が刺激となりホルモンの多量分泌(サージ)が起こり、それが引き金となり産卵に至ります。当館で飼育しているデメモロコも、繁殖期である春先には、腹部が大きくなり卵巣が発達しているのが観察されましたが、産卵には至りませんでした。つまり、飼育下ではホルモンサージを引き起こすことができないものと考えました。そこで、この引き金となる生殖腺刺激ホルモンとよばれるホルモン剤を直接体内に投与して産卵を促すことにしました。つまり人為的に引き金を引くのです。

6cmほどに成長したオスとメスの腹腔内に、注射器でこのホルモン剤を投与し、産卵床となるような水草を入れた水槽に戻しました。そして翌日には、水草に産みつけられている卵を確認することができました。産卵をしてくれたことは嬉しかったのですが、目で見て確認できる卵数が少なく、ガッカリしてしまいました。しかし、数日後、無数のフ化した仔魚を確認することができました。卵が透明で、水槽の

中では見えにくかったため、ほとんど無いものと思い込んでしまっていたようです。フ化した仔魚は全長2~3mmでとても細くて弱々しく、水槽の底でじっとしており、ほとんど泳ぐことはありません。しばらくはワムシを与え、泳ぎだすころにはブラインシュリンプも食べるようになり、約2ヶ月間で全長1cm以上に成長しました。



屋外成魚育成用水槽

現在は、このようにして育った約700尾の稚魚を屋外の水槽に移し、できる限り自然に近い環境で育てています。まだまだ突き詰めていくことは多くあり、最終的には自然産卵による累代繁殖ができるように飼育環境を整えていくことが、自然下でのデメモロコの保護、保全に関しても何らかの貢献ができるのではないかと考えています。

カリフォルニアアシカの「ミント参上!!!」 堀江

アクア・トト ぎふのアシカショーといえば、カリフォルニアアシカのマリンですが、当館にはもう一頭、「ミント」がいるのです。2006年4月に桂浜水族館からやってきてから、これまで猛特訓の日々を送ってきました。当館にやってきた頃はまだまだ小さく、体重は28kgでしたが、今では体重65kgにまで成長し、体だけはもうマリンと同じくらいです。しかし、まだ3歳ということもあり、落ち着きがなく、遊びたい盛りの子どものアシカです。そんなミントですが、ついに、2008年10月10日(トトの日)に念願のショーデビューを飾りました。ショーといってもマリンのような立派なアシカショーはまだできません。マリンのショーの前座として登場することになりました。時間にして数分のことでしたが、デビュー当日は立派にパフォー



ショーの様子

マンスを披露することができました。この日までとても苦労しましたが、日々の努力が実りうれしく思います。デビューから4ヶ月が経った今でも、落ち着きのなさは変わりません。まだまだ独り立ちには程遠いですが、今後ともミントをよろしく願います。みなさん、温かい目で見守ってあげてください。

アシカショー 観覧者50万人達成!!

2006年7月にスタートしたアシカショーですが、ついに観覧者数50万人を達成いたしました。これも皆様の応援のおかげです。感謝の気持ちをこめて、マリンが横断幕を掲げました。これからもアクア・トト ぎふのアシカショーをよろしく願います。

ミントの得意ポーズ
「あつかんべ〜」



さわってみよう

作ってみよう

観察してみよう

考えてみよう

アクア・マイスターになろう!

各務原市との共同開催プログラム。10回シリーズです。

田んぼビオトープの収穫祭

6月にみんなで田植えをした田んぼビオトープ、覚えてますか?毎月観察するたびに大きくなっているイネに、みんなびっくりでしたよね。秋になって、そのイネがこんなに立派に実りました。さあ、いよいよ収穫です。



はみで刈り取ります。



すいばすて
ぞみがらを取ります。
なかなか取れない!



1粒残らず
精米するぞー!



ぞみがら、
飛んでけー



いただきます。

収穫したお米は、昔ながらの方法でもみすり、精米をします。手作業とても時間がかかるんですよ。とてもじゃないけど時間内に精米が完了しないので、最後は精米機を使いました。あっというまに真っ白になるお米。「機械って早い・・・。」そしてご飯を炊いて、とれたてのお米をいただきます!少しもみがらが残っててじゃりじゃりしたけど、おいしい!

環境学習プログラム

平成20年10月から平成21年3月までの活動

【圓戸】

アクア・スクール

毎月行っているアクア・トトぎふの教室。2ヶ月ごとに内容が変わります(事前申し込み制)。



お魚傘づくり

館内の生き物をスケッチして、いろいろな生き物の絵を描きました。



お魚万華鏡づくり

普通の万華鏡の中には、ビーズやスパンコールが入っていますが、アクア・トトの万華鏡は一味違います。

みんなの疑問を解決!!

アクア・トトしつもんばこ

Q、コツメカワウソにエサやりしてみたい! できませんか?

コツメカワウソはとても頭がよく、担当の飼育スタッフをちゃんと覚えています。担当以外の人があると、警戒してなかなかエサを食べてくれません。

また遊びで人の手や足を噛むこともあるので、お客さまにエサやりをしていただくのはちょっと難しいかもしれません。



ジャンプ!!
エサちょうだい!

Q、水そうの水かえはどうやってるの?



こんなろ過装置が
いつもあひます。

水そうのほとんどは、少しづつきれいな水を足してあふれた分を排水する、かけ流しという方式をとっています。また、ろ過装置もついていていつも水をそうじていますので、一度に水を替えることはめったにありません。



Vol.3 木曽川ワンド便り

【国崎】

今回は真冬のワンドについてお話ししていきます。冬期は雨量が少ないため河川の水位は減少します。また、水温の低下にともない水を茶色や緑色に見せているプランクトンなどが減少し澄んだ水になります。定期的に調査しているワンドもその影響を受け、雨期には本流とつながり水深が1メートル近くあったところも、冬期ではほとんど本流と繋がることはなく、中心部でも深さは20cm程度です。ワンド自体も小さくなり、水は透き通っているため底は丸見えです。ワンドの淵に氷が張っていることもあります。まわりの植物も落葉してしまい、ワンド周辺に生き物の気配はあまり感じられません。しかしこのような厳しい環境の中でもコイの仲間の稚魚や、スジエビを確認す

ることができます。また、ワンドの底の泥の中や水中の落ち葉の間には、じっと動かず春を待つ生き物もいるようです。昨年の調査では、ワンド近くの水たまりでアカガエルの仲間の卵塊を発見しました。ワンドの周辺で冬眠していた個体が産んだものでしょう。水族館に持ち帰り飼育をはじめたところ、その卵塊はニホンアカガエルのものでした。岐阜県内ではニホンアカガエルの生息数は減少しており、岐阜県のレッドデータブックにも記載されています。希少種の産卵場所や生息場所に冬のワンドが利用されているのです。私たちにとって厳しく感じる冬のワンドも、そこに適応してきた水辺の生き物たちにとってはなくてはならない重要な環境なのです。



企画展レポート

企画展 寒い冬に常夏の空間 トロピカルワールド

【開催期間】平成20年11月21日[金]～平成21年2月2日[月]



サンゴ礁は一年中温暖で、安定した環境です。サンゴの隙間を隠れ場所とする小魚や、その小魚をねらった大型の魚もサンゴ礁の周りに多く集まり、サンゴ礁には実に多くの生き物が生息しています。この生物多様性の観点から見ても重要なサンゴ礁ですが、温暖化による異常気象や、赤土の流出など様々な要因で、大きなダメージを受けているのが現状です。



今回の企画展では、その美しいサンゴ礁を水槽内で再現し、サンゴ礁を代表する生き物を紹介しました。少しの間冬の寒さを忘れつつ、サンゴを取り巻く環境に目を向けていただけたらと思います。

企画展 探偵!アクア・トトスクープ

【開催期間】平成21年2月6日[金]～3月16日[月]



企画展「探偵!アクア・トトスクープ」は、来館者の皆様から募集した、身近な生物についての、疑問・質問について、依頼者と、アクア・トトの探偵(スタッフ)がともに、その謎を解明していくという企画です。

調査の内容に対して、探偵は、答えを導き出すためのきっかけ作りをお手伝いするだけで、依頼者の方々が自分自身で、疑問を持つ・調べる・答えを導き出すという過程を楽しみながらたどり、学ぶ喜びを感じていただけたらと思います。企画展では、その調査の過程を、パネル、映像、写真、標本などを用いて紹介しました。



企画展 知っ得!有毒情報!!(毒をもつ生物展)

【開催期間】平成21年3月20日[祝]～5月18日[月]予定

毒をもっている生物は、地球上に数多く存在します。そのほとんどの種は、私たち人間を襲うためではなく、自らの身を外敵から守るためや、エサとなる生物を捕えるために毒を使用します。たとえば「海水浴中にクラゲに刺された」としたら、それは、クラゲがあなたを攻撃したのではなく、あなたの攻撃に対して毒を使って防御したのです。



しかし、残念ながら、毒をもっているがために、むやみに駆除される事例も多くあります。

今回の企画展では、「知っ得、有毒情報」と題して、毒を保有する生物にスポットを当て、それぞれの毒の種類や使い方、実際に被害にあったときの対処法などについて分かりやすく解説しました。この企画展を通して、嫌われがちな有毒生物に対する正しい知識を身につけていただき、毒を持つといった生態そのものが生物の多様性の一つであることを理解していただけたら幸いです。

マンスリー水槽

珍しい生物やテーマにちなんだ生物を月ごとに紹介しています。



10月 君の瞳に恋してる?魅力的な瞳をもつ魚たち
11月 ふしぎな皮ふのおはなし
12月 カラフルクリスマス
1月 今年モーラッキー アクアトトのお正月
2月 合格祈願! ～よく見れば五角形!?!～
3月 桃の節句 おヒメさまのお成～り～

特別企画水槽

季節やイベントに関連して様々な生き物を紹介します。



デンキウナギでクリスマスツリー点灯2008 平成20年11月1日[土]～12月25日[木]
アクア・トトの開運金魚水槽 平成20年12月27日[土]～平成21年1月31日[日]
アクア・トトのバレンタイン応援団 平成21年1月26日[土]～2月15日[日]

アクア・トトのサイエンスカフェ「フロッグカフェ」開催

第3回目「日本・世界のカエルたち」平成20年12月28日[日]開催



国際カエル年のイベントの一環として行った、アクア・トトぎふのサイエンスカフェ「フロッグカフェ」。平成20年12月28日(日)に第3回目が開催されました。今回は、京都大学大学院人間・環境学研究所教授の松井正文先生をお招きし、「日本・世界のカエル」というテーマで、分類や生態について最新の知見を交え、お話していただきました。



第6回メコンオオナマズ学術調査委員会

平成21年1月30日[金]
毎年開催されている「メコンオオナマズ学術調査委員会」も今年で第6回を数えることとなりました。タイ国の魚類研究者ムシカシンソーン先生からメコンオオナマズをめぐる現状について発表していただき、養殖・放流・天然個体群の状況についてご報告いただきました。また当館からは展示飼育担当の池谷が、これまでの飼育経過に関する報告と昨年9月に行った



メコンオオナマズの発音を録音した実験について発表を行いました。今後は引き続き飼育知見を集積していき、またこれまでの発表内容をまとめて普及啓発に努めていく予定です。

第4回淡水魚保全シンポジウム

平成21年3月4日[水] (岡山市立万富公民館)
淡水生物の保全について考える「第4回淡水魚保全シンポジウム(岡山大会)～淡水魚の保全とその課題～」が、秋篠宮文仁親王殿下のご臨席を賜

り、岡山市立万富公民館で開催されました。淡水魚保全研究会は、未来に誇れる「人と淡水魚が共存できる豊かな河川、湖沼等の水環境」の保全・再生について提言を行うことを目的に活動しています。4回目になる今大会は、岡山県で活動している皆さんとの協働で、生物の保全とともに農業振興や町おこしも含めた多面的な活動を展開するための契機とし、特に淡水魚と農業の関係として農業用水路に関わる話題に焦点をあて、生物保全と農業との間にある合意的形成の問題にも触れることを目的に開催されました。



ポスター発表も行われ、30を超える個人・団体より日頃の活動の成果や取り組みの紹介がありました。「アクア・トトぎふ」もポスター発表を行い、「ウシモツゴの保全－水族館としての取り組み－」と題し、「ウシモツゴを守る会」の活動を中心に保護増殖と啓蒙・普及活動をまとめました。その他、パネルディスカッションでは、「アユモドキ」の生態や生息状況、それらを取り巻く環境、人との関わり、水田との関わり等について議論されました。「アユモドキ絵画展」も開催され、岡山市内のお子さんが描いた絵が数多く展示されていました。今後も情報発信、全国各地での保全に取り組んでいる皆さんとのネットワークの拡大を目指す淡水魚保全研究会の取り組みを応援していきたいと思っております。

携帯サイト・メールマガジンのご案内

水族館のイベントのご案内、飼育日記、各種プログラムのご案内等の情報を、メールで定期的にご送付しています。登録手順は下記の通りです。ぜひご利用ください。

アクア・トト ぎふホームページにアクセス
<http://aquatotto.com>

メールマガジンの登録は
「Web会員登録中!!」ボタンをクリック
順序に従ってWeb会員に登録

「メールマガジン」をクリック
順序に従ってメールマガジン会員登録

携帯サイトへのアクセスは
携帯用QRコードを読みとりアクセス!!
<http://aquatotto.com/k>
を直接入力して、アクセス!!



主な出来事

【平成20年10月1日～平成21年3月31日】

	式典	企画展	学習プログラム
10月	9.19～11.17	企画展「アクア・トト ぎふ 子ども生き物学展」	
	10.1～31	マンズリー水槽「君の瞳に恋してる?魅力的な瞳をもつ魚たち」	
	10.1～11.28	ガレリア展示「カエル新種図鑑」	
	10.1～31	秋の年パスキャンペーン	
	10.1～11.3	トトの日イベント「トト川柳を詠もう!」	
	10.1～11.3	トトの日イベント「第4回作文コンクール」開催	
11月	10.5	アクア・スクール「さわってしらべる」	
	10.19	アクア・スクール「つかまえた魚でミニ水族館」	
	10.4～11.30土曜	ものづくりワークショップ「ポトルアクアリウムをつくらう」	
	11.1～12.25	特別展示「デンキウナギでクリスマスツリー点灯!?!」	
	11.1～11.30	マンズリー水槽「ふしぎな皮ふのおはなし」	
12月	11.2	アクア・スクール「さわってしらべる」	
	11.16	アクア・スクール「つかまえた魚でミニ水族館」	
	11.21～2.2	企画展「寒い冬に常夏の空間 トトビカルワールド」	
	11.29～2.1	ガレリア写真展「後藤巨「生きる」長良川賛歌」	
	12.1～31	マンズリー水槽「カラフルクリスマス」	
	12.1～1.31土曜	ものづくりワークショップ「古紙でつくる手作りカード」	
1月	12.1～H21.2.28	冬の年パスキャンペーン	
	12.6	クリスマス特別イベント「聖歌隊・ハンドベルコンサート」	
	12.7	アクア・スクール「お魚傘づくり」	
	12.21	アクア・スクール「お魚Tシャツづくり」	
	12.28	アクア・トトぎふのサイエンスカフェ「第3回フロッグカフェ」	
	1.1	「飼育なるほど豆知識～展示生物のみみつ編～」	
	1.1～1.31	マンズリー水槽「今年モォ～ラッキー!アクア・トトのお正月」	
	1.1～1.3	お正月イベント「魚かるたとり大会」	
	1.1～2	お正月イベント「ババメコンからお年玉」	
	1.3	お正月イベント「ババメコンとお餅つき」花餅をつくらう	
2月	1.1～1.5	お正月イベント「トトおみくじ」	
	1.1～1.31	お正月イベント「トト神社で初詣!?!」	
	1.11	アクア・スクール「お魚傘づくり」	
	1.18	アクア・スクール「お魚Tシャツづくり」	
	1.24～2.15	バレンタイン特別水槽「アクア・トトバレンタイン応援団」	
	1.30	第6回メコンオオナマズ学術調査委員会	
3月	1.31～2.1	節分イベント「せつぶんワクワクペーパー」	
	2.1～2.28	マンズリー水槽「合格祈願!よく見れば五角形!?!」	
	2.1～3.15土曜	ものづくりワークショップ「トトテラおさんぽアニマルをつくらう!」	
	2.1	アクア・スクール「お魚万華鏡づくり」	
	2.6～3.16	企画展「探偵!アクア・トトスクープ」	
	2.14	アクア・マイスターになろう! 修了式	
4月	2.15	アクア・スクール「水族館ガイドツアー」	
	2.21～3.22	ひなまつり特別展示「光るおりがみ金魚」	
	3.1～3.31	マンズリー水槽「桃の節句 おひめさまのお成～り～」	
	3.1	アクア・スクール「お魚万華鏡づくり」	
	3.4	第4回淡水魚保全シンポジウム	
	3.15	アクア・スクール「水族館ガイドツアー」	
5月	3.20～4.5土曜	ものづくりワークショップ「春の若葉でたたき染めをしよう!」	
	3.20～5.18	企画展「知っ得!有毒情報!!(毒をもつ生き物)」	



アクセス情報



東海北陸自動車道

「川島PA・ハイウェイオアシス」よりすぐ、「一宮木曾川IC」出口から車で約10分、「岐阜各務原IC」出口から車で約10分。一般道からもお越しいただけます。駐車場無料。

鉄道・バス

JR「岐阜駅」・名鉄「名鉄岐阜駅」より岐阜バス川島松倉行き「川島笠田」下車徒歩約15分(土日祝は「河川環境楽園」停まで乗り入れる便もあります)、JR「那加駅」・名鉄「新那加駅」から、「かかみがはらふれあいバス」利用、名鉄「笠松駅」下車タクシー利用、など。

※公共交通機関ご利用の場合は、事前にお時間等ご照会ください。

入館料金(税込)

区分	個人		一般団体	区分	学校団体
	1回券	年間パスポート	20人以上		
大人	1,400円	2,800円	1,120円	大学生	1,000円
中学生・高校生	1,100円	2,200円	900円	高校生	850円
小学生	750円	1,500円	600円	中学生	520円
幼児(3歳以上)	370円	740円	300円	小学生	420円
				保育園・幼稚園児	260円
				園児付添保護者	1,000円

※障がい者手帳(付添者1名を含む)をお持ちの方は、個人1回券がそれぞれ半額となります。
 ※65歳以上で年齢を証明するものをお持ちの方は、個人1回券が1,260円となります。
 ※年間パスポートの有効期間は、発行日から1年間となります。

開館時間 午前9時30分～午後6時まで(最終入館は午後5時)

休館日 無休 ※ただし、臨時休館させていただく場合がございます。詳しくは水族館までお問い合わせください。



〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町1453 河川環境楽園内
 TEL 0586-89-8200 FAX 0586-89-8201

<http://aquatotto.com>

